

南相馬市立原町第二中学校 学校だより

# からくき 原

第11号 発行日：平成29年10月3日(火)  
発行者：南相馬市立原町第二中学校長 伊藤 浩樹

## 【教育目標】

礼儀正しく思いやりのある生徒  
自ら学び考える生徒  
健康で体力のある生徒

## 【重点目標】

身につけた活用力を生かし、目標  
を実現しよう。 TEL 0244-22-4188



## 栄光をたたえて～相双新人大会途中経過～

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育活動に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日の学校だより等でご案内の通り、今年度の新人大会は中体連の主催ではなく、各種目ごとの協会等の主催で行われております。9月30日・10月1日(土・日)には、野球・バスケットボール・バドミントン・ソフトテニスの各種目が行われており、生徒たちもこれまでの練習の成果を十分に発揮して、各種目で素晴らしい活躍を見せてくれました。これもひとえに保護者の皆様のご支援・応援の賜と感謝申し上げます。



結果については、まだ途中ですが、すでに入賞し、県大会出場が決定した種目がありますのでお知らせします。

種目	試合結果	備考
ソフトテニス 男子	団体戦 第3位 個人戦 第3位高橋・板倉ペア 第5位村田・志賀ペア ベスト16 遠藤・渡部ペア、紺野・池田ペア	個人戦 11月4日(土) 団体戦 11月11日(土) 福島市庭球場
ソフトテニス 女子	個人戦 ベスト16 小林・星ペア、小元・紺野ペア	個人戦 11月5日(日) 福島市庭球場
バドミントン 男子	団体戦 第2位 個人戦 ダブルス 第3位吉田・井川ペア、佐藤・佐藤ペア	11月11・12日(土日) あづま総合体育館
バドミントン 女子	個人戦 シングルス第2位 大 迫	

なお県大会の期日については、種目によって異なります。詳しい内容等については、各部ごとにご確認ください。野球はブロック第3位、バスケットは男女とも勝ち上がり、決勝トーナメント(10月9日)に出場します。

## 相双新人大会に向けて～壮行会～

9月28日に相双新人大会に向けての選手壮行会を行いました。

今年度は各種目ごとの協会等の主催となったため、年間行事では壮行会は予定しておりませんでした。しかし、1・2年の生徒たちの練習に打ち込んでいる姿を見ていた生徒会役員を中心とした3年生の、そして、先生方の「ぜひ壮行会をやって、激励したい」という思いを受け、急きょ行うこととなりました。

壮行会では、それぞれの部がユニフォーム姿を披露し、大会に向けての意気込みを力強く決意宣言してくれました。各部の決意宣言のあと、3年の先輩からの激励の言葉が続きました。学校が一つになって応援しているという実感が伝わり、素晴らしい壮行会でした。

また、10月8日に白河市で行われる福島県新人陸上競技大会の壮行会も行いました。本校からは相双予選を勝ち抜いた12名が参加してきます。

# 全国学力・学習状況調査より

過日文科科学省は、3年生を対象に4月18日に行った全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。本校の調査結果についてご報告いたします。

## 1 調査内容について

### (1) 教科に関する調査（国語A・国語B、数学A・数学B）

Aは主として「知識」に関する問題

Bは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

## 2 調査結果

### (1) 教科に関する調査

国語A、国語Bともに全国平均を下回りました。主に「話すこと・聞くこと」の領域に課題が見られたので、重点的に力を入れて指導していきます。

数学A、数学Bともに、全国平均を下回りました。主に「数と式」の領域に課題が見られたので、重点的に指導していきます。

### (2) 生徒質問紙調査

#### ① 成果が見られた項目

○学校に行くのは楽しいと思いますか。

○学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがありますか。

○家で、学校の授業の復習をしていますか。

#### ② 課題が見られた項目

●地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

●テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。

●家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

## 3 学力向上の取り組み

今回の調査結果では自分の意見を書いたり、考えを根拠を明らかにして説明するなどの問題について、課題が見られました。そこで本校では今後、次の点について重点的に取り組んでいきます。

(1) 授業の中で、自分の考えを持つ場面を設定し、なぜそう考えたのか、その考えに至った根拠や理由を明確にする時間を確保します。

(2) 生徒が互いの考えを説明し合う機会を設け、他者の意見を聞き、自分の意見と比較・検討する活動を行うことで生徒が相互に啓発しあうような授業づくりに努めます。

(3) 「わかる・できる」が実感できるような授業づくりを目指して、ICT機器の活用や指導法の工夫改善に取り組むとともに、既習事項を振り返る機会を設け、基礎・基本のより一層の定着を図ります。

## 4 保護者・地域の皆様へのお願い

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

### (1) 家庭学習について

○ ゲームやテレビ、スマホなどの利用についてルールを決めるとともに、子どもが落ち着いて学習できる場と時間を確保してください。

○ 計画的な家庭学習、宿題や授業の復習を行うことを習慣づけさせてください。

### (2) 地域行事等への参加

○ ゲームやテレビ、スマホなどの時間を少なくし、家族のふれあいや会話の時間を大切にしてください。

○ 地域行事への参加などから地域や郷土のよさや人々のつながりの大切さを学ぶ機会を設けてください。

**最後に**、3年生の学習では、必要な学習事項をきちんと身につけて、しっかり覚えていくことが大切です。また、時間の使い方を見直していくことも大切です。一日24時間、この24時間をどのように使うかは、自分次第です。スマホやその他に心を奪われず、自分に今、何が大切なのかをよく考え、悔いのない時間の使い方を工夫して欲しいと思います。